

JS 円光デリバリー

ぷい屋

RUBBISH Selecting Squad's
Erotica extra





JS丹光デリバー
ぷり屋

RE_EX



はじめまして、またはいつもありがとうございます。
無望菜志です。

いつもと様子の違う本ですが
やってる事はたいして変わりません。

アニメのプリヤドライはまだ一話目しか見ていないのですが
田中さん、バカ可愛いですね。
福圓さんのちょっとネジの緩んだ声と相まって
ツボを刺激されます。

次回があるかどうかはわかりませんが、
田中さんとクロも交えたネタも描いてみたいな、描けるかな。

先の事はさておき、ひとまずイリヤさんと美遊さんを
ねっちょりお楽しみください。

電話してホテルに入り、待つこと30分。
チャイムがなり、ドアを開けてみると
そこには紛う事なきJSが二人
佇んでいるのであった。



お風呂にお湯をはったり
テキパキと
何かしら準備する
美遊さん。

見たことない枚数の
諭吉さんを渡され
イリヤさん。



お風呂沸いたので
ぬぎぬぎ。
女の子同士なので健全。

んしょ

ぬぎ

あ...

んしょ

ぬぎ

あは...っ?

ぬねこ...

おもしろい...
うてなうてな

ほめ

いふ

なんで...?

どこことなく
嬉し恥ずかしな
美遊さん。

イリヤ
早く……ッ

ヒキ

うっ……

ぬん……

ヒキ

引き続き脱ぎ脱ぎ。
美遊さんにガン見
されながらの脱衣に
羞恥心全開の
イリヤさん。

パンツチェックに
謎の染みで
さらに赤面。

ヒキ

ヒキ

あれ……？
私もぬれこ……

かあ……

ホカ

ホカ

なんで……っ

ヒキ

ヒキ

ぬん……

なにこれ...?

ふふふふ...

エエエ

エエエ

何なの？
この格好...?

ふふ...

エエエ

透けスクと黒紐ビキニに
着替えた2人。
これから入浴。

折角なので記念に撮影。
ピースピース。
ウエーイ。

イリヤのお股...
あたたかい...♡

エエエ

エエエ

ふふ

ふふ

2人で
人間スポンジと
化して御奉仕

つつ...

ぬる

ぬる

はう...

ぬる
ぬる

すり

すり

JS柔肌の感覚に
美遊さんの指遣い、

イリヤさんの
初々しい反応に
おじさんもご満悦

ぬる
ぬる

ぬる



ほんとに...
こんなの...

おっ...

ドン引きながらも
おちんぼから
視線を逸らせない
イリヤさん

大事なところは
お口で綺麗に



み...美...遊...!?!

はむ...

ちゃぷッ

恥ずかしげながらも
舌先での念入りに尿道を
ほじくる美遊さん

れちよ
れちよ



そんな美遊さんを
みつめる
イリヤさんの
心中は――

美遊…



この手の
才能にもあふれ
下品なチュパ音も
お手の物

罪悪感で
いっぱい

……ッ

意を決した
イリヤさん

異臭やグロテスクな
外見にも負けず
ついにチンタッチ

うっ……ッ

ん……

んうッ

ん……

ん……

ん……

ん……

ん……

幼い薄桃色の舌に
赤黒く張り詰めた亀頭の
苦さが伝わり
いっそう涙目



強い体臭と
長時間奉仕による疲労で
頭がぼうつとしてきた
イリヤさん

美遊さん共々
気付けば一心不乱に
しゃぶりつき

人生初めての顔射、
汚ちんぽとは
また違った味と匂いに
吐き気を催すイリヤさん

ドロ...

づあッ

えびッ

うええ...

ヌ
ア...

ん
ふふふ...

う...

無理じゃね
イリヤ...

ん...

ひと汁流し
さっぱりしたところで
いよいよオンザベッド

震える
イリヤさんの手を
そっと握る美遊さん

ふい

イリヤさんの胸中に
暖かいものが生まれる

ふい

あ

そんな
ロリ百合な光景に
感動したおじさん

「じゃあ先に
美遊ちゃんを滅茶苦茶に
しちゃおうね」
クズである



「安心してね。私は痛い事させるのは嫌いなんだ」とローションを搾り出すおじさん

美遊さんか思わず声を漏らしてしまいはんのり恥ずかしいげ

その言葉とおりおじさんの指遣いは艶かしいほど



あ...♡

い、イヤ...?

ふらッ

ここで突然
イリヤさん参戦

は♡

びくびく

ん...

あ...♡

あ...♡

くっ

れろ

お金を受け取って
いるにも関わらず
傍観者でいる事を
嫌ったのか

はたまた
ローション塗れで
頬を赤くする
美遊さんの姿に

何か入るものが
あったのか



イリヤさんの
指先が
美遊さんの
柔肌を這う

おじさんの
指遣いと比べれば
拙い動きだったが

不思議と
美遊さんは
熱い吐息を
零してしまふ

そこにおじさんの
深く熱い
バキュームクンニ

いやらしい音が
美遊さんの耳を
打つ



肌と耳と
秘所から
伝わる刺激が

美遊さんの
心と身体を
昂ぶらせ

だ、大丈夫？
美遊...

そして——

イリヤ...





一心不乱に
愛撫を続ける
美遊さん。

そして
抵抗の言葉を
あげつつも

身体を走る
未知の刺激に
流されていく
イリヤさん。

イリヤの
おいしい♡♡

ん♡♡

お、おっぱいも
なめちゃう♡♡

ん♡♡

み、美遊ッ
そんなところ♡♡

ふ♡♡♡

あ♡

ん♡♡

ん♡♡

ん♡♡

ん♡♡

ん♡♡

ん♡♡

ん♡♡

ん♡♡

ん♡♡

あ♡

あ♡♡♡

ん♡♡



もうこのまま
J S ロリレズもの
として進めた方が
良いんじゃないだろうか

美遊ッ♡

イリヤ♡

みゅ♡♡

そんな
ふざけた迷いを

あ♡♡

ん♡♡

ん♡♡

おじさんの一撃が
ぶち壊す



おじさんは
少し怒っていた

あゝ♡

ギチ

あゝ♡

は♡

が♡

目の前で
繰り広げられた
JSレズショーも
悪くは無い

ギチ

ミチ...

♡

びびる

ふ♡
き♡
♡
♡

は♡

美遊ッ!?

大丈夫ッ!?
美遊ッ!?

は♡

だがおじさんは
金を払ったのだ

普段JSが
手にする事が
できない金額を

びびる

びびる

うそッ
そんな苦しそう
なのにッ

ちが...うの

にも関わらず
彼は無視された



いきなり…
だったから…

おどろいた
…だ…け

はっ♡

美遊ッ!?

あ♡

苦しくは
ない…けど
らいじようぶ
じゃ…
ないみたい…

ギッ

いやイチモツを
捻じ込んでも
なお無視されている

は♡

フッ

イリヤの
目の前で…

おまんこ
ギチギチに
されて…

ミキッ

イリヤに
犯されてる
みたいで

ギッ

びんびん

は♡

は♡

は♡

頭おかしく
なるくらい…

ギモチいいから…♡

びん

びん

ならば
もう彼女達には

容赦ない
お仕置きが
必要である





おじさんの怒りと
獣欲の籠った
白濁液が美遊さんの
胎内ではじける

はあ
はあ
はあ

その勢いは
暴力的な快楽として
全身をむしばみ

彼女の人間性を
剥ぎ取るのだった

美遊さんの
胎内に
吐き出したことで
おじさんの怒りは
消え去った

だが
可愛いらしいJSを
目の前にしては

ふえ？

獣欲は
一度の射精で
鎮まるワケもなく

え？

え？

ビクッ
ビクッ

ガッ
ガッ

ビクッ

うそ…？

男の人って
一度したら
終わりなんじゃ…

その矛先を
イリヤさんに
向けるのである



イリヤさんの
未成熟なぶつくり
おまんこを

ゆっくりと
だが確実に
蹂躪していく
おじさん

ムッ
ムッ
ムッ

おまんこ
おまんこ
おまんこ

獣欲をたぎらせつつも
一度射精した事により
冷静さを
取り戻しているのか

ひびく

ちゅー

ムッ
ムッ
ムッ

ぷっ
ぷっ
ぷっ

ぶつぶつと
裂けていく
処女膜の感覚を
味わうかのよう
に腰を沈めていく

ガッ
ああ
ああ

ゆゆ
つくり

時間をかけて

イチモツの
荒々しさに
似合わない
繊細な腰使いで

イリヤさんのお
またを
押し広げていく

イリヤさんは
身体が裂けるような
痛みと

まともに呼吸
出来ないほどの
圧迫感に
悲鳴もあげられないで
いたが

やがて
痺れるような感覚に
痛みは
やわらいでいった

意識が朦朧とした
イリヤさんには
どれだけの時間が
経ったのかわからないが

気付けば
身体の最奥まで
みちりと
埋め尽くされていた

痺れは身体の内を
くすぐるように
広がり

強張っていた筋肉を
弛緩させていく

その不思議な感覚に
戸惑うイリヤさん

これだけ
蕩けていけば
もう充分だね
と嬉しそうな
おじさん

あぁ...

あぁ...
はぁ...
はぁ...

はぁ...

ここからは
本気でいくよ

そういうと
おじさんは
腰を打ちつける

ッ!?

37

これまでの
繊細な動きが
嘘のような
荒々しさ

ばちんばちんと
肉の弾けあう音が
イリヤさんの
頭の中に響く

あゝ♡

が...♡

ギチ...

にゅ...♡

にゅ...

ギチ...

が...♡

が...♡

が...♡

が...♡

が...♡



ななな♡

いっ♡いっ♡いっ♡

いっ♡
あぁ♡♡

うん♡うん♡
おち♡おち♡

チ♡チ♡

チ♡チ♡

チ♡チ♡

うん♡
あぁ♡あぁ♡

ひゃ♡

あぁ♡

むしろそんな
イリヤさんの声を
楽しむかのように

おじさんの腰は
激しくうねり

あたまおかし♡
なっ♡なっ♡

未体験の感覚に
不安と恐怖の
悲鳴をあげる
イリヤさん

だがおじさんの
勢いは止まらない

ザ♡ザ♡

ザ♡ザ♡

がら♡

もう♡
やぁ♡

その刺激が
一層イリヤさんの
頭と身体を
かき乱す



おじさんの
荒々しい抽挿と

美遊さんの
優しい愛撫の
コントラストが

イリヤさんの
吐息を甘いものへと
変えていく

それを
受け入れ始めた
イリヤさん自身に
対する疑問であった

み・美遊……ッ
みゆ……ッ♡

わらひ……ッ
おかしら……♡

に……ッ
に……ッ♡

に……ッ
に……ッ♡

に……ッ
に……ッ♡

に……ッ
に……ッ♡

に……ッ
に……ッ♡

に……ッ
に……ッ♡

に……ッ
に……ッ♡

に……ッ
に……ッ♡

に……ッ
に……ッ♡

みゆ……ッ♡

みゆ……♡

大丈夫
イリヤ
私が傍にいる

先ほどと
同じような疑問が
イリヤさんの口から
零れる

ふ……♡

心も身体も
滅茶苦茶にした
暴力的な刺激が

どこか
暖かいものへと
変化し



イリヤさんの
身体は翻弄される

骨まで
揺さぶるような
絶頂の波と

胎内を
火傷しそうな
精液の熱さに

イリヤさんの
処女まんこを
満喫したおじさん

その言葉に
さらにニツコリ
大満足である

イリヤ…
お礼いわないと

に…
なかだし…

く…
ふ…

折角のJ.S.生本番
おじさんは
長時間コースで
申し込んでいたのだ

うおおお

あ♡

三

子

74

お♡

おぉおぉおぉ♡

トキ

7

初潮前の少女であらうが、妊娠させんばかりの勢いで種付けプレス

下



トビ

代わる代わる
種付けプレス

プレス待ちの間は
イリヤさんと美遊さん
それぞれオナニー待機

ドMの
美遊さんは
勿論

貫通直後の
イリヤさんも
すっかり
メスの声で
鳴くように



おじさんの
金玉がカラに
なる頃には

二人は
お腹の形が
変わるほどに
ザーメンまみれ

今度は
屋外コースや
着フレコース…

いや、マットも
あり…
むしろ丸1日
全コース網羅とか…

びくびくと
痙攣アクメを
決める
二人の姿に

おじさんは
散々射精した
直後ながらも
次なる欲望を
高めていく

ちなみにこの後
二人は1時間ほど
意識を失っていた為

おじさんは
追加料金を支払う
ハメとなった



後日改めて
マツトフレイ

臭い汚いながらも
一心不乱に
おじさんの肛門を
舐めまわす
美湯さん

根っからの
ドMである



ああああ♡♡♡

ボテ腹
まんこイッ♡

イッ♡

赤ちゃんと
いっしょにイッ♡

イッ♡

イッ♡

イッ♡

フ♡

な...♡
胎中だし♡

数か月後
そこには
ボテ腹ツクスに
J Sの姿が

ありがとっ...♡
ごいまひゃ...♡

ああ...♡

あたたがい♡

ふい♡
ああ♡

あとがき

キャメロットピックアップ第二弾はまだですか？(只今7月30日)
ストーリー召喚で獅子王さまを単発引きした友人を、嫉妬の炎で焼き尽くさんばかりの勢いで心が荒んでますので早くしてください(切実

今回、低コスト増ページをテーマにいつもの漫画とは違った本を作ったつもりですがいかがだったでしょうか。
大半のページはPixivで無料公開しているので、ページ数の割に物足りなく感じる方もいるかもしれませんが、これはこれでアリだというなら、今後もこの手の本は作ってみようかと思えます。

勿論いつもの漫画をメインにしつつではあります。

ちょっと今回、円光感とかデリヘル感が薄い気がしてまして、もっとテンポ良くガンガン犯ったり犯られたりさせていれば良かったなーと反省してます。
もっとイリヤさんや美遊さんから積極的に攻めさせたり、マッドやコスプレコースを体験させてみたり等々。

次回描けるとするなら、お姉さんのボジのクロさんに引っ張ってもらいつつ、もっとお金とコンドームが飛び交う内容にしてみたいと思います。
触手はナシだッ。

でも次はFGO本になりそうな気も。
両方描けたら理想ですがはてさて。

そんなところで今回はここまでです。
最後までお付き合い頂きありがとうございます。

それではまた。

(獅子王さま狙いでストーリーガチャ100連回したら黒ニキ来てくれて嬉しいけどちょっと複雑な)無望菜志



■奥付

RE_EX JS円光デリバリー

ぷり屋

□発行
RUBBISH選別隊

□発行日
2016年8月14日

□印刷
(株)PICO

□連絡先
rss@rubbish-ss.net

□HP
<http://rubbish-ss.net/>

REEX
R-18 **FOR**
ADULT
ONLY

RUBBISH選別隊